

地域に根ざす 特色ある学校づくりをめざして

～地域での豊かな体験活動を通して 主体的に学ぶ児童の育成～



- ・児童数: 52名
- ・学級数: 5学級
※3・4学年は複式学級
- ・教職員数: 10名
- ・研究テーマ: キャリア教育
の推進

広島県庄原市立峰田小学校 池田周三

本日の内容

(1) 中山間地域に位置する本校が、なぜ森林フィールドなのか

- キャリア教育の視点より、将来に向けて地元で活躍できる人材育成
- 豊かな体験活動から、主体的に学ぶ児童の教育活動(教育課程の再編成)

(2) 地域団体との連携(アサヒの森環境保全事務所)

- 年間3回の森林フィールドのプログラム編成と児童の要望に基づく活動
- 学習後の発展教材として(学習発表会・科学研究応募・道徳教材 等)

(3) 今後に向けて

- 児童・保護者・地域の現状を受けた 今後の展望に向けて

(1) 中山間地域位置する本校が なぜ 森林フィールドなのか

1 キャリア教育の視点より 将来に向け地元で活躍できる人材育成

広島県・広島県教育委員会

- ★広島県(未来ビジョン)
 - ・広島に生まれ、育ち、住み、働いて良かったと思える県実現
- ★県教委(「学びの変革」アクション・プラン)
 - ・広島で学んで良かったと思える日本一の教育県の創造
 - ⇒・社会で活躍する人材育成
 - ・豊かな心の育成
 - ※「山・海・島」体験活動

+

庄原市教育委員会

(庄原市教育振興基本計画)

- ★ふるさと庄原での学びや体験が、原動力となる教育の創造
- ★やがてふるさとで活躍、ふるさとのことを思い行動する人材育成
- ⇒(例)体験活動の充実より
 - ・地域での交流活動の充実
 - ・豊かな自然環境の中で活動
 - ・花づくり活動
 - ・社会貢献、社会参加の充実 等

=

峰田小学校版 「学びの変革」 アクション・プランの創造

- ★中山間地の強み
を生かそう
- ★地域の教育力
を活用しよう
- ★ふるさと峰田に誇り
をもとう
- ★自分と友達の良さ
を確かめよう

(1) 中山間地域位置する本校が なぜ 森林フィールドなのか

2 豊かな体験活動から、主体的に学ぶ児童の教育活動(教育課程の再編成)

総合的な学習の時間 年間指導計画(3年生) 70時間

テーマ 自分たちの地域を見つめよう												
		4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単元		地域を見つめよう（４８時間）							地域の人に会おう（２２時間）			
ねらい		・地域に関心をもち、地域の自然やものづくりを探究していく学習に取り組む。 ・課題に対して計画的に学習を進め、体験活動や取材・聞き取りを効果的に取り入れて、多くの情報の中から必要なことを選んでまとめたり、わかりやすく伝えたりする力を育てる。							・地域の人との出会いを通して、地域の人の思いや願いを知る。 ・地域のよさや人々の生き方に共感し、自分たちの生活に生かしていこうとする態度を養う。			
学習内容		○地域の様子を知ろう（５） ・学習の計画を立てる。 ・学校の周りや自分の家の周りの様子を調べる。	○青嶽山はどんなところだろう（５） ・青嶽山はどんな山か調べる。 ・青嶽山で見つけたものを発表する。	○地域のじまんを見つめよう（１０） ・調べ方を考える。 ・地域じまんを見つめる。	・学習のまとめをパソコンでする。	○地域の自然について考えよう（５） ・「まけるなキジバト」を読んで身近な環境に興味・関心をもつ。	○まとめよう（９） ・地域を調べてわかったことをまとめる。 ・標語やポスター、新聞にまとめる。	○発表しよう（６） ・学習したことをより多くの人に伝えるために工夫して表現する。	○地域の人々の活動を知ろう（５） ・どんな活動をしているか調べる。 ・地域の人から話を聞く。	○地域の人とふれあおう（５） ・「ふれあい広場」で、地域の人と一緒に活動する。	○地域のよさを伝えよう（１０） ・これまでの活動を作文にまとめる。	・活動のまとめをパソコンでする。
「アサヒの森」で自然や環境、産業について体験して学ぼう（各学期４時間）												
○いろいろな国のいいところを見つけよう（１０）												
		・計画を立てる	・あいさつの仕方のちがいをを知る。			・行事について調べ、ちがいをを知る。			学習したことをまとめる。			
評価の観点	学習意欲	○		○		○			○		○	
	課題設定力	○		○					○			
	課題解決能力		○			○		○		○		○
	表現力		○				○		○		○	
自己の生き方					○			○				○

★カリキュラム・マネジメント

・年間指導計画への
位置づけ

・児童に付けたい資質・能力



①主体性(自己管理能力)

②コミュニケーション能力



主体的な学びへ

(2) 地域団体との連携(アサヒの森環境保全事務所)

1 年間3回の森林フィールドのプログラム編成と児童の要望に基づく活動(1学期)

【夏のアサヒを探索しよう!】



森林へ向け レッツ・ゴー

1学期のプログラム

- 森林散策
- 浄化実験(森林の力)
- 丸太切り体験
- 森林まるごと工作
- 振り返り



驚きの森林パワー



コツがつかめた!!



見て見ていいでしょう!



1 年間3回の森林フィールドのプログラム編成と児童の要望に基づく活動(2学期)

【秋のアサヒを探索しよう！】



森林散策で発見・発見！

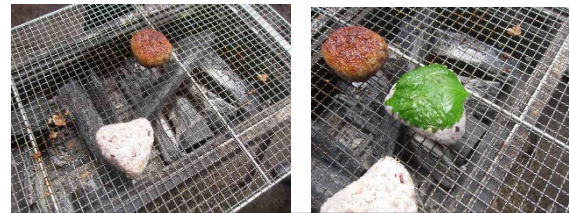


2学期のプログラム

- 森林散策
- 植物図鑑作り
- 味噌汁・焼きおにぎり
- シイタケ植菌体験
- 振り返り



調べ学習で完成



「ごちそうさまでした。」



ドリルが使えました！

1 年間3回の森林フィールドのプログラム編成と児童の要望に基づく活動【昨年3学期】

【冬のアサヒを探索しよう！】



オリエンテーションより



雪上では大変便利



どこへかけますか



これは不思議です

3学期のプログラム

- スノーシュー体験
- 巣箱作り
- 大かまくら・ソリー
- ヒノキストーブ体験
- 振り返り



ヤッホー

(2) 地域団体との連携(アサヒの森環境保全事務所)

2 学習後の発展教材として(学習発表会・科学研究応募・道徳教材 等)

《1 学習発表会では》

1年目⇒



アサヒの森名場面紹介



地域教材開発
ホタルの生息活動



地域教材開発
史跡文化の発掘

2年目⇒



環境保全問題へステップ・アップ
※タヌキと地域開発の共存テーマ



《2 科学研究作品では》 《3 道徳では》 《4 その他でも》

A photograph of four students on a stage, dressed in black leather outfits with red hats. They are standing in front of a large, colorful backdrop that depicts a stylized landscape with green hills, blue water, and a yellow sun. The stage is lit with warm lights, and the background is a dark red curtain.[illegible]

家庭科とのつながり
※マイお弁当献立



国語科とのつながり
※将来の町づくり

(3) 今後に向けて

○児童・保護者・地域の現状を受けた 今後の展望に向けて

【+αとして見えてきたもの】



後輩へのやさしさ



焼き芋プレゼント



全校遊びの工夫



防災教室の開催

《保護者・地域にとって》

★積極的な情報発信

- ・「学校が取組がよく分かる。」
- ・「子供たちの発表で、知らなかった地域のことが分かった。」

★本校児童に付けたい
資質・能力の見極め

★更なるカリキュラム・
マネジメントの推進



PTA防災教室へ発展

◆アサヒの森体験活動から……安心の1枚



このシイタケ
1・2年生にも
分けてあげま
しょうよ。

ご清聴ありがとうございました。